

三浦 義光 議員 政新会



問 気象変動による災害対策は

答 毎年、防災計画を改定している

問 直近5年間における、台風の影響による避難所開設、避難勧告の状況は。

答 (防災課長) 避難所開設は、合計8回。

避難勧告は、平成30年に高潮警戒で1回。

問 近年の弥富駅、佐古木駅周辺の水害状況は。

答 JR弥富駅北側の市道、近鉄弥富駅南側の県道、佐古木地区の市道で一時的に冠水があった。

問 小島地区排水機の運転のタイミングは。

答 (下水道課長) 覚書で運転開始水位と運転停止水位が決められ稼働している。

問 駅周辺の排水対策の計画は。

答 (建設部長) JR弥富駅北側では排水量は増えないため、特別に排水計画は考えていない。

JR、近鉄両駅間の地区では、適切な排水施設を配置。

問 増加する猛暑日、コロナ禍における小中学校生活の総括は。

答 (教育部長) 日傘や帽子、体操服による通学などの対応。

問 この冬の対策は。

答 今まで以上に湿度管理と換気に注意し、免疫力を高めるため規則正しい生活を促す。

問 市内稲作への影響に対するJAや県からの情報は。

答 (農政課長) 耐暑性を有する新品種を開発して、66aで一般栽培している。更に新品種を開発し2025年に一般栽培を目指す。

問 木曾川左岸尾張大橋付近の陸橋整備は。

答 (建設部長) 大型土のうで対応。

問 市長総括を。

答 (市長) 本市の特性を考慮し、毎年度、防災会議で審議し改定。

※洪水時に閉め、堤防の役割を果たすゲート

問	新規広域農道の の今後は
答	交通量増により 安全対策が必要



▲西中地地内広域農道

問 西中地地内、新規広域農道計画の変遷は。

答 (建設部長) 踏切や跨線橋による線路の横断は、JRとの協議の結果断念した。

弥富北中学校東側の市道の安全対策に見通しが立ち、現行事業で進めた。

問 国道155号につなぐ弥生通線の拡幅整備は。

答 (土木課長) 平成28年度に道路測量設計、用地調査が完了。その後、用地取得に至っていない。

問 弥富名古屋線へ結ぶ、弥富北中学校横の道路、拡幅および歩道整備の計画は。

答 (市長) 歩道整備の計画はある。JRと事前相談を行っており、今後は事業着手に向け協議を継続。



▲岐阜市内長良陸橋(ながりりっこう)